

2020年室内環境学会 大会長優秀学生賞 受賞の言葉

A-31 室内環境に存在する化学物質の挙動と居住者の  
曝露評価

小山真緒<sup>1)</sup>, 内山茂久<sup>1,2)</sup>, 野口真由美<sup>3)</sup>, 坂元宏成<sup>3)</sup>, 稲葉洋平<sup>2)</sup>, 牛山明<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>千葉大学工学部, <sup>2)</sup>国立保健医療科学院, <sup>3)</sup>千葉大学大学院

このたび、室内環境学会2020年東北大会で発表致しました“室内環境に存在する化学物質の挙動と居住者の曝露評価”にて大会長優秀学生賞を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。

室内環境に存在する化学物質は居住者へ影響を与えています。また昨今、新型コロナウイルス感染症の流行拡大によるステイホームの推奨に伴い、室内化学物質の長時間曝露による健康影響が懸念されています。

このような背景のもと本研究では、住宅内各所、屋外の化学物質濃度および、居住者全員の個人曝露濃度測定を行うことで、室内化学物質の動態と人への影響を検討しました。また、長期間モニタリングすることで、化学物質濃度の季節的変動や室内濃度の個人曝露濃度に与える影響を明らかにしました。

結論として、化学物質濃度は測定場所、個人、季節によって大きく変動すること、そして正確なリスク評価を行うためにはパーソナルサンプラーを用いての個人曝露濃度測定が有効であることを報告いたしました。

本研究にご協力いただきました千葉大学工学部地球環境化学グループの、粟生莉丘、青柳知里、青山紗也、麻生大地、上坂優貴、小沢未来、川村祐生、鹿倉結、清水萌花、鈴木葵、益子竣の諸氏に深くお礼申し上げます。また、本研究の遂行にあたって多くの助言を頂きました方々に心より感謝申し上げます。

……著者データとプロフィール……



小山真緒  
(こやま・まお)  
千葉大学工学部  
総合工学科 都市環境システム  
コース4年



内山茂久  
(うちやま・しげひさ)  
千葉大学工学部  
都市環境システム学科  
客員准教授  
博士(工学)



野口真由美  
(のぐち・まゆみ)  
千葉大学大学院  
融合理工学府地球環境科学専攻  
修士(工学)



坂元宏成  
(さかもと・ひろなり)  
千葉大学大学院  
融合理工学府地球環境科学専攻  
博士課程後期2年



稲葉洋平  
(いなば・ようへい)  
国立保健医療科学院  
生活環境研究部 主任研究官  
博士(水産学)



牛山明  
(うしやま・あきら)  
国立保健医療科学院  
生活環境研究部統括研究官  
博士(理学)